

大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）

の導入機能について

平成29年2月17日「まちづくり・新エネルギー対策特別委委員会資料」から関係部分を抜粋。

1、中心市街地の政策展開と新たな導入機能について

（1）大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）

- ・「人づくり」と「産業振興」を支える拠点
- ・3つにまたがる街区を一体的に整備し、北越銀行本店をリノベーションする長岡発の再開発を検討

2、再開発事業に向けた基本的な考え方について

（1）概況図



（2）一体的な整備イメージ

- ・3街区の建物をデッキなどでつなぎ、低層階にはにぎわいを創出する機能、高層階にはオフィスや業務機能を配置する案を基本とします。
今後、この案を基に関係権利者と十分な調整を進めていきます。

(3) 再開発事業スケジュール (予定)

- ・平成29年度 基本計画の策定
都市計画決定
- ・平成30年度～ 事業認可、設計
- ・平成32年度～ 工事着工

(4) 施設の基本コンセプト

【政策目的及びコンセプト】

～長岡開府400年記念事業 100年先の長岡のために～ 人づくり・産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点『米百俵プレイス (仮称)』を整備

(5) 検討する導入機能

①にぎわいを創出する機能 (低層階に配置)

○人と人、人とまちを本でつなぐ「未来の人づくりと知の発信拠点 米百俵ライブラリー (仮称)

- ・米百俵の精神と互尊独尊の思想を次世代へ継承
- ・多世代の活発な交流からにぎわいが生まれる、まちなかのたまり場 (カフェ・交流スペース)
- ・多様なニーズに対応し、市民の自発的な学びを支援する学習室
- ・オール長岡の歴史・人物・産業を紹介する展示スペース
- ・人材・産業育成関連の専門書籍と郷土資料の充実

②オフィス・業務機能 (高層階に配置)

※具体的な内容については、今後、関係機関等としっかり連携し、検討を進めていきます。